

第 1 回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会 議 録

日 時：平成 2 8 年 7 月 2 9 日（金）

場 所：周南市役所 第 2 応接室

【会 議 次 第】

- 1 開 会
- 2 副市長あいさつ
- 3 委員の自己紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について
- 6 議 事
地方創生先行型交付金対象事業の効果検証について
- 7 その他
- 8 閉 会

《 配付資料 》

- ・ 周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る実施事業評価
- ・ 評価参考資料1
- ・ 評価参考資料2
- ・ 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 委員名簿
- ・ 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 配席図

第1回 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

- 日 時 平成28年7月29日（金） 13時30分から
- 場 所 周南市役所 第2応接室
- 出席者 ・委員 9名
石川 英樹、河田 正樹、梅野 潤子、中川 明子、久野 耕一郎、
岡田 浩、細川 英樹、山根 耕太郎、岩淵 吉男
- ・周南市副市長 住田 英昭
- ・事務局 5名
政策推進部長 増本 俊彦、政策推進部企画課 課長 高木 一義、
課長補佐 中村 貴子、企画担当係長 富永 将介、主査 中村 成孝
- 資 料 ・会議次第のとおり

会 議 議 事 録

1 開 会

2 副市長あいさつ

皆さま、こんにちは。副市長の住田でございます。

本来であれば、木村市長がご挨拶させていただくところでございますが、出席がございませんので、代わりまして私からご挨拶をさせていただきます。

皆さまにおかれましては、平素から本市のまちづくりや、市政運営に様々な形でご支援、ご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

また、この度、「周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議」委員へのご就任をお願い申し上げましたところ、ご多忙にもかかわらずご快諾を賜り、誠にありがとうございます。

さて、ご承知のとおり、一昨年に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、我がまちにひとの流れを呼び込もうと、全国の自治体が知恵を絞り、それぞれの地域特性を生かした総合戦略を策定したところでございます。

本市におきましても、有識者の皆さまをはじめ、市議会や市民からのご意見やご提案を踏まえ、今年1月、「未来に贈りたい周南（まち）をつくる。」をコンセプトに、「周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の確立に向け、鋭意取組みを進めているところです。

地方創生の取組みをスタートさせて2年目となります本年度は、総合戦略関連事業に取り組む中、委員の皆さまによる評価検証及びいただいたご意見を基とした進捗管理を行い、その取組みをさらに深化・加速化させて参りたいと考えております。

委員の皆さまにおかれましては、どうぞ、忌憚のないご意見をいただき、本市の総合戦略とそれに基づく取組みをより実効性の高いものとしていくため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

3 委員自己紹介

(名簿順に委員の自己紹介、事務局の自己紹介)

4 会長及び副会長の選出

◇事務局 それでは次に、「会長及び副会長の選出」に入りたいと存じます。「周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議」設置要綱第5条で「戦略会議に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。」とされておりますので、皆さまの互選により、会長・副会長を選出したいと存じます。

どなたか、ご意見はございますか。

●委員 昨年度から「周南市総合戦略」の策定に関われ、その中で、会長と副会長の任を担われた石川委員と中川委員が、今までの経緯等もよくご存じだと思われるので、引き続き、会長を石川委員、副会長を中川委員にお引き受けいただけたらいかがでしょうか。

◇事務局 ただいま委員からご提案がございましたが、その他、ご意見がございましたか。ご異議がなければ、拍手をもってご承認をお願いいたします。

●委員 (拍手承認)

◇事務局 ありがとうございます。委員の皆さまのご承認により、会長に石川委員、副会長には中川委員が選出されました。会長、副会長より一言ずつご挨拶をお願いします。

○会長 ただ今、会長を拝命いたしました石川でございます。昨年度、策定された総合戦略をいかに実行していくかということが重要だと認識しています。そうした中で各委員の皆さまにしっかりとチェックしていただくことにより、この会議も役目を果たしていけると考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○副会長 副会長に選出していただきました中川です。未熟とは思いますが、尽くせる限り尽くしたいと思っておりますのでどうぞよろしくをお願いいたします。

5 周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について

◇事務局 ～「周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要」について説明～

6 議事

地方創生先行型交付金対象事業の効果検証について

- 会長 先ほど事務局から説明がありましたが、今回は総合戦略の5年間の進捗状況全体ということではなく、先行実施した交付金対象事業について限定的にチェックを行いたいと思いますので、事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 評価対象事業No.9は、No.1の追加事業として実施したものですので、No.1とNo.9は併せて説明させていただきます。
～事業No.1と事業No.9について説明～
- 会長 総合戦略は定量的な数値(重要業績評価指標「以下、K P Iという。」)に基づいて評価していきます。No.1とNo.9の指標は「子育て支援サイトへの年間アクセス数」となっており、目標36,000PV¹に対して、実績は99,300PVとなっており、これを見ると大幅に目標値を超過しています。これにつきまして、委員の皆さまに評価していただくこととなりますが、この事業が総合戦略のK P Iの達成に有効であったのか、それとも有効とは言えなかったのかを判断していくこととなります。委員の皆さまからのご意見・ご質問をお願いします。
- 委員 質問です。この事業は総合戦略の基本目標2「(1)結婚、妊娠・出産・子育てに関する支援の促進」に関連する事業であり、そこにK P Iが4つ設定されていますが、このK P I全てに対して有効なのかを判断すれば良いのか。
それとも、少なくとも1つのK P Iの達成に有効であるならば、有効と判断すれば良いのでしょうか。
- ◇事務局 まず、本日評価していただく事業は、先行型交付金対象事業のため、単年度のK P Iを設定していますが、総合戦略のK P Iは5年後の達成を目標にしています。
まずは、先行型交付金の対象となった事業について、単年度の評価をいただきたいと考えています。
- 委員 それでは先行型交付金事業のK P Iだけを評価すれば良いということですね。
- ◇事務局 総合戦略の事業は同時展開しているので、本来であれば関連する事業を総合的に評価していただきますが、今回は先行型交付金対象事業の実施結果(K P I)から、総合戦略の施策の推進に有効であったか、または有効とは言えなかったかを判断していただきたいと思います。

¹ PV(ページビュー)とは、インターネット上に公開されているページが、どのくらい閲覧されているかを測るための指標の一つ。

- 会長 先行型交付金対象事業は、当然、総合戦略の事業として含まれていますが、本日は、先行型交付金対象事業のみを判断することになります。
- K P I を見ると有効であったと言えますがいかがでしょうか。
- 副会長 この K P I 36,000 P V という目標は、総合戦略完成前に設定されたとのことでしたが、そもそもこの目標値の設定が妥当であったと考えておられますか。
- ◇事務局 目標設定が妥当であったかとのことですが、担当課としても初めて実施する事業であり、目標値も本当の推測でしかなかったと思われま。しかも、国が先行型交付金の概要を示してから、申請までの期間は1ヶ月あまりしかない中で、所管課が設定した目標です。
- 毎年の出生数などから算定したものと思いますが、本日は目標設定の根拠となった詳細な資料は持ち合わせておりません。
- 副会長 例えば12歳以下のお子さんがある世帯が、市内に12,000世帯くらいあり、各家庭が3回程度はホームページにアクセスするだろうといった計算なのででしょうか。
- ◇事務局 なるべく多くの方にアクセスいただかないといけないと考え、所管課も色々な場面で P R を行ってきました。その結果、目標値を大きく上回る実績となりましたが、こうした情報やその提供方法が市民の方に求められているということが課題として見えてきました。
- 委員 1年目の目標が36,000 P V で、5年後が、単純にその5倍の180,000 P V という目標を設定されていたとしたら、こうしたサイトのアクセス件数は、年々、逡減していくと考えられるので、目標達成は難しいと考えられますが。
- ◇事務局 市民の数には限りがありますので、新規の閲覧者は一定数を超えるとあまり増えなくなると思われますが、ホームページの内容を充実させて、アクセス件数は増やしていきたいと考えております。
- 先行型交付金対象事業の目標値は、総合戦略策定前に設定していますので、36,000 P V を単純に5倍したという考えではありません。
- 委員 昔、この『はぴはぐ』は冊子としてよく見ていました。確か子供が生まれた時にだけ配られていましたが、ホームページになって情報が随時更新されるので良かったと思います。見ている方は、おそらく未就学児をお持ちの親御さんだと思いますので、そのあたりを想定して目標を設定されていれば良いと思います。
- 会長 ホームページの内容は素晴らしいものなので、これからしっかり P R をしていくことが必要になると思われまますが、その他ご意見はございませんか。
- 副会長 今後のホームページの維持管理費の財源は。
- ◇事務局 ホームページの更新費用につきましては、月20~30万円くらいを想定しており、一般財源から捻出していきたくて考えております。

- 会長 目標値の設定根拠は気になるところですが、目標値を超過達成していますので、推進施策に対して有効であったということによろしいですか。
- 副会長 子育て支援に関して、小学校に入学する段階で、児童福祉系の部署から教育委員会へ変わりますが、そのつながりがスムーズに出来るような仕掛けがホームページにプラスされるとさらに良いと思いますので、部署を超えた連携をこのサイトの中で実現していただきたいと思います。
- ◇事務局 その様に取り組んで参りたいと思います。
- 会長 それでは事業No.1 とNo.9 につきましては、それぞれ「総合戦略のK P I 達成に有効であった」と評価し、今まで出ました意見を有識者会議からの意見としてまとめさせていただきます。
- 会長 次に事業No.2 につきまして、事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 ～事業No.2 について説明～
- 会長 Y I C キャリアデザイン専門学校に業務委託ということですが、その内容についてもう少し詳しく説明をお願いします。
- ◇事務局 ビジネスマナーやパソコンスキルなどの習得や、本人の希望や適性に合った期間限定の職場勤務を経て、受け入れ企業が勤務状況などを判断して、本採用につながる流れになっています。
- 委員 採用された 14 名の雇用形態は。
- ◇事務局 基本的に正社員です。
- 委員 この訓練に申し込まれた方の人数は。
- ◇事務局 17 名です。
- 委員 3 名は辞退されたのでしょうか。
- ◇事務局 3 名とも採用面接は受けられていますが不採用という結果になっています。そのうち 1 名は家庭内の状況を整理した後に就職活動をされる予定です。
- 委員 事業委託料が高額のわりには、その効果(恩恵)を受けた方が少数であり、少し平等性に欠けると感じました。
- 会長 これは単年度事業でしょうか。
- ◇事務局 効果は非常に高いと感じていますが、ご指摘のとおり費用が高額になります。今回は国の先行型交付金により 100%補助されるため、本市として実施したいと考えました。平成 28 年度につきましては、国の交付金が活用できませんので、一旦事業を中断して、内容の再検討を行っています。
- 副会長 業務委託料の内訳は公開されない情報ですか。
- ◇事務局 事務的経費や講師謝金なども含みますが、その半分以上は受講者本人の賃金になります。インターンではなく、実際に勤務していただきますのでの月額 135,000 円の給料をお支払いする仕組みになっています。
- 副会長 研修受講者の募集方法は。

- ◇事務局 ハローワークを通しての応募や、直接ご自身での応募となっています。また先ほどの新規雇用者の賃金ですが、委託費 2300 万円の内、約 1050 万円が新規雇用者の賃金となっており、残りの 1300 万円が講師謝金等の人件費を含む事務的経費となっています。
- 副会長 Y I C の先生が講師を務められたのではなく、外部から講師を招聘した形ですか。
- ◇事務局 Y I C はビジネス部門も設置しておられますので、おそらく内部講師と外部講師の両方を活用されていると思います。
- ◇事務局 先ほどの応募状況に関して、今年度は 17 名全員がハローワークを経由しての応募となっておりますので訂正いたします。
- 会長 それでは、この事業につきましては、目標値の達成状況から判断すると、総合戦略の K P I の達成に有効であったと言えますが、事業効率の面からは検討の余地があったという意見を付すということではいかがでしょうか。
- 会長 異論がないようでしたら、事業No.3 につきまして、事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 ～事業No.3 について説明～
- 委員 P R は、どんなことを P R されたのですか。
- ◇事務局 周南市の良さや移住定住の取組み内容を中心に P R しております。
- 委員 移住するには雇用情報がとても重要であり、市内企業の具体的な求人情報を持って P R に臨まれないと、人も集まらないと思われれます。
- 委員 この事業に関する K P I として、移住に関する相談件数が 5 件の目標に対して実績が 4 件となっていますが、参考資料の平成 27 年度の移住フェア等での相談件数は 75 件、総合戦略に記載されている「U J I ターンの促進」に関する K P I は、平成 26 年度 U J I ターン相談件数 103 件を平成 31 年度に 200 件とする目標となっています。これらの指標の関係はどうなっていますか。
- ◇事務局 まず、総合戦略に記載されている 103 件という K P I は、「空き家情報バンク」に関する相談件数や漠然とした就業相談等の移住に関する問合せ件数であり、一方、参考資料にある移住フェア等での相談件数とは、大都市圏で開催された移住フェア等に本市がブース出展し、来場者の方に能動的な働きかけを行い、移住の P R 相談が出来た件数です。
- その内 4 件につきましては、折返しの電話相談があったり、実際に本市へ足を運ばれた方が 4 件おられたということになり、先行型交付金の実績値「具体的な相談件数」はこの数字です。
- 委員 延べ相談件数は、出展ブースに座った人数で、その内 4 件については具体的な相談まで出来た件数ということでしょうか。
- ◇事務局 4 組の方は、移住フェアの後にリアクションがあった方で、実際に本市まで

足を運ばれた方もいらっしゃいます。

- 委員　　今までの「空き家情報バンク」などへの相談件数に加え、こうした4組の方をもっと増やしていくことにより、200件のUJIターン相談件数を目指すといことでしょうか。
- ◇事務局　　従来、本市のUJIターン事業に対する考え方は受け身であったのですが、これからは移住希望者に対する積極的な働きかけを行い、KPIにもある移住相談件数を200件までに伸ばしていきたいと考えております。
- 会長　　この事業に関しては、目標値の達成状況からすると、総合戦略のKPIの達成に有効であったとは言えず、課題としては、こちら側が求める人材を明確にした上で、市内企業を巻き込んだ具体的な移住PR活動が出来ること、もっと効率・実績が上がるのではないかとおもわれますが、委員の皆さま、その他にご意見がありますか。
- 会長　　ご意見がないようでしたら、以上のような評価とさせていただきます。
次に事業No.4につきまして、事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局　　～事業No.4について説明～
- 会長　　参考までに移住実績の2世帯とは、どちらの地区に移住された方ですか。
- ◇事務局　　鹿野地区と三丘地区になります。
- 会長　　目標指標2の「移住者の受入に活用する空き家の数」が、未達成となっておりますが、担当課からの説明は何かありましたか。
- ◇事務局　　中山間地域において移住者用の空き家を掘り起こすことが、現場としても難しいところであり、本年度、地域の方と一緒にローラー作戦により掘り直しを行っております。
移住者の希望する空き家と提供できる空き家が、上手くマッチング出来なかったため、本年度は特に空き家の掘り直しに力を入れているところです。
- 副会長　　空き家情報バンク制度では、空き家がどこの地区にあるかは公開されているが、逆に「この地区に住みたい人がいる」といった情報は、地域には伝わっていないですね。
- ◇事務局　　空き家情報バンクでは、制度を利用されたい方には登録いただいておりますので、空き家の購入や賃貸を考えておられる方のリストはございます。
- ◇事務局　　補足させていただきますと、地区を限定されて空き家をお探しの方がおられれば、希望されている地区の「里の案内人」や公民館への橋渡しを行っております。様々な事情により空き家情報バンクに登録されていない物件もございまして、個別の橋渡しにより移住につながったケースもございまして。
- 副会長　　空き家をお持ちの方も、空き家の需要が多くあることが分かれば、空き家情報バンクへの登録も増えるかもしれません。人の手を介さない積極的なマッチング方法も考えられると思います。

- ◇事務局 4年前まで、中山間地域には多くの空き家がありましたが、現在は空き家が足りない状況となっており、次のステップとしてその掘起しを行う事業が必要となっています。今後も国の補助金等の活用も検討しながら、空き家改修費の助成などを行い、移住者を受け入れる体制をつくっていくことを考えております。
- 会長 目標の達成度からすると総合戦略のK P I達成に有効でなかったとなりますが、委員の皆さまいかがでしょうか。
- 委員 目標指標1は達成していますので、総合戦略のK P I達成に有効であったと判断しても悪くないと思います。数値の達成度だけで判断するのであれば、有識者会議は必要ないとも言えます。
- 会長 それでは、総合戦略のK P I達成に有効であったとした上で、今後は空き家の掘起しを強化していく必要があるという意見を付すという総括でよろしいですか。
- 会長 それでは、そのような評価にさせていただきます。
次に事業No.5につきまして、事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 ～事業No.5について説明～
- 会長 目標指標1の開業または開業予定の件数2件には、「周南マンガヴィレッジ」の実績は含まれないのですか。
- ◇事務局 「周南マンガヴィレッジ」の開校も一種の起業と捉えていますので、実績の2件に含まれています。
- 会長 目標指標2の移住または移住予定の世帯数は、「周南マンガヴィレッジ」の事業に関連したものですか。
- ◇事務局 移住実績7世帯のうち6世帯が、「周南マンガヴィレッジ」のスタッフの方です。
- 副会長 事業No.4の目標指標に対する実績と、事業No.5の中山間への移住世帯実績は同じ方をカウントしているのですか。
- ◇事務局 事業No.4「中山間地域移住者受入体制整備事業」と事業No.5「中山間地域起業等促進事業」の両方の支援を受けられて移住された方が1人おられますので、両方の実績にカウントしています。
- 委員 事業No.5の移住実績7世帯のうち6世帯がマンガヴィレッジの関係者で、残りの1人がこの方ということですか。
- ◇事務局 そういうことです。
- 副会長 それぞれの事業ごとに起こった移住者数ということですか。
- ◇事務局 そのとおりです。
- 委員 空き家改修費補助のような支援を受けて移住した人以外は、実績に含まれていないということですね。

- ◇事務局 市の施策を活用されて移住された方以外は、実績にはカウントしていません。実際、市の施策を活用されずに転入されている方は多くおられます。
- 会長 まずは、目標指標の達成度からすると、総合戦略のK P I 達成に有効であったということになります。ご意見はありますか。
- 担当課の今後の方針としては、事業の追加等さらに発展させるとの考えのようですが、新たな効果を生むためには担当課の考えとおりの発展的な事業展開が必要と考えますが、委員の皆さまのご意見はいかがでしょうか。
- 会長 特にご意見がないようでしたら、この事業は総合戦略のK P I 達成に有効であったとし、担当課の方針のとおり、発展的な事業展開が必要との意見を付すことにいたします。
- それでは、次に事業No.6 につきまして、事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 ～事業No.6 について説明～
- 会長 昨年度、動物園の一部がリニューアルされていますが、目標指標の達成に影響があったとは考えられますか。
- ◇事務局 リニューアルは、年度末の3月でしたので、ほとんど影響はなかったと考えています。
- 副会長 動物園アプリのダウンロードを開始されたのはいつからですか？
- ◇事務局 試験的にダウンロードを始めたのが9月からで、完成が今年の初めです。
- 副会長 ランニングコストについてはどう考えておられますか？
- ◇事務局 金額的なものは直ぐに分かりかねます。ただ、情報を常に更新していくアプリではないので、新たなコンテンツを追加すれば費用が発生するかもしれませんが、通常であれば大きな費用は発生しないと考えております。
- 今後は、中心市街地の取組みと連動させ、「まちなか動物園」の良さを生かしたものに繋げていきたいと考えております。
- 会長 目標指標の達成状況からすると、単純に総合戦略のK P I 達成に有効であったとして良いと考えられますが、ご意見はありますか。
- 今後も事業を継続されていくとのことですがよろしいでしょうか。
- 会長 特にご意見がないようでしたら、そのようにさせていただきます。
- 次に事業No.7 につきまして、事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 ～事業No.7 について説明～
- 会長 ユニークベニューに関する調査を実施されていると思いますが、その結果が具体的に目標指標とどのように関連しているか説明をお願いします。
- ◇事務局 今回の調査に基づき、市内10か所のユニークベニューを選定していますが、今後、これらを活用したPRを行い、更なるコンベンションの誘致を図っていきます。昨年度につきましては、ユニークベニューに関連したコンベンションの具体的な問合せが5件あったという結果になります。

- 会長 ユニークベニューの選定結果は、どのように周知されていますか。
- ◇事務局 担当課としましては、ホームページでの周知に加えて、スポーツ系やビジネス系などのコンベンション主催団体への働きかけを行っています。
- また、全国コンベンション協会にも加入しておりますので、そうした組織も活用して本市のユニークベニューをしっかりとPRしていきたいと思います。
- 会長 今後、いかにして効率的にコンベンションを主催する団体にPRするかが課題であり、現時点では、それ以上の指摘は出来ないと思われませんが、他のご意見はいかがでしょうか。
- 会長 他にご意見がないようですので、この事業は総合戦略のKPI達成に有効であったとし、今後は選定したユニークベニューの周知・PRを工夫していただきたいと思います。
- 次に事業No.8につきまして、事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 ～事業No.8 について説明～
- 会長 この事業の目標指標は、「まちづくりプロジェクトに取り掛かる団体数」となっており、実績としては0件でしたが、計画の策定が遅れた結果だということでしょうか。
- ◇事務局 地域づくり推進計画の策定にあたり、市内の各種団体にヒアリングを実施しながら進めて参りました。その中で、新たな事業に取り組む団体が現れないかとの期待を込めた目標設定でしたが、実際に新たな事業に取り掛かった団体はありませんでした。
- 委員 現時点で、どれくらい（事業数）の可能性がありますか。
- ◇事務局 参加団体は20～30団体はあるように聞いています。また近々に2事業程度が共創プロジェクト事業として採択されると聞いています。
- 会長 「まちづくりプロジェクトに取り掛かる団体数」とは、共創プロジェクト事業の補助金申請件数ですか。それとも補助金の認定件数ですか。
- ◇事務局 共創プロジェクトに採択された事業数（補助金の申請件数）ではなく、共創プロジェクト事業への応募件数です。
- 会長 目標指標の設定がおかしかったとはいえ、実績から判断すると総合戦略のKPI達成に有効であったとは言えないという評価になりますが、いかがでしょうか。
- 委員 有効か、無効かの2択しかないのでは判断が難しいところですが、事業自体は、有効であったと言えなくはないと思います。
- 副会長 ここでは、実施された事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効かどうかを判断し、有効であればその良かった点、有効とはいえないのであれば、その原因と改善策を考えることになっています。
- 地域づくり推進計画の策定が、5年後の最終目標達成を見据えて「今」行っ

たアクションであるとすれば、一応有効であったとして良いのではないのでしょうか。

○副会長 実績値としては0件であるが、数値として表せられないところで行われている準備や取組みを考えると有効であったと言えると思われま。

○会長 それでは、方向性としては有効であるとの判断から総合戦略のKPI達成に有効であったと評価し、引き続き、制度のPRを積極的に行っていくことという意見を付すことでよろしいでしょうか。

○会長 それでは、そのようにさせていただきます。また事業No.3につきましても、単純に実績値から総合戦略のKPI達成に有効ではなかったと評価しましたが、今、議論した考え方によると有効であったと判断した方がよろしいでしょうか。

○副会長 甘めの評価になって良いのか判断に迷うところですが、この会議の方針として厳しい評価を出していく方が良いのか、今後の各事業の発展性を考慮してプラス面を評価していく方が良いのか・・・。

○会長 ただ、事業No.3につきましては、委員から、単に移住相談ブースを設けるだけではなく、もっと効率的・効果的なPRをするようにとの叱咤激励をいただいておりますので、評価自体はこのままだも良いのではないかと思います。

●委員 評価自体は有効であったで良いと思います。

○会長 わかりました。それでは、事業No.3の評価につきましては、総合戦略のKPI達成に有効であったに変更し、付帯する意見は、求人情報等のきめ細かい情報もしっかりと押さえた上で具体的な移住PR活動に取り組むことを希望するとさせていただきますと思います。

○会長 それでは、これで全ての評価が終わりましたが、全体を通してご意見等がございませうか。

●委員 評価シートの最後に「各事業の評価等を踏まえた総合戦略の見直しの有無」という項目がありますが、これは市が判断されるということでよろしいのですか。

◇事務局 この項目につきましては、今日、皆さまに評価いただきました結果を基に、市長を中心とした庁内の本部会議の中で判断していくこととなります。

○会長 それでは、他にご意見がないようですので、最後に事務局から連絡事項があればお願いします。

7 その他

◇事務局 ～その他、今後の日程等について説明～

8 閉会

○会長 以上で、全ての日程を終えましたので、進行を事務局にお返しします。

◇政策推進部長 皆さま、長時間のご審議ありがとうございました。限られた時間の中での評価をいただくということと、また第1回目ということもあり分かりにくいところが多々あったかと思われます。

その中でたくさんの貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。いただきましたご意見は、これからの事業推進に役立てていきたいと考えております。今後とも引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします

◇事務局 以上をもちまして、「第1回 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議」を終了いたします。本日は大変ありがとうございました。